

令和4年度 学校評価 生徒アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R4	R3	R2
1 教育活動全般について	1	学校は教育方針や育てたい生徒像をはっきり示してくれる。	3.3	3.4	3.3
	2	学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている。	3.6	3.6	3.5
	3	学校は進路に関して情報を提供してくれている。	3.6	3.6	3.6
	4	学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	3.4	3.4	3.3
	5	担任の先生は、保護者との連絡を密にしている。	3.3	3.0	3.2
	6	生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い。	3.4	3.4	3.4
2 学習活動について	7	1日の平均家庭学習時間。 (2時間以上・・4, 2時間~1時間・・3, 1時間~30分・・2, 30分~0分・・1)	1.9	2.1	2.2
	8	先生は、テスト以外の面も評価してくれている。	3.5	3.5	3.4
	9	授業は集中できている。	3.1	3.2	3.3
	10	授業でわからないことについては、先生に質問しやすい。	3.2	2.8	3.0
	11	始業時には、きちんと席に着き、教科書等の準備をしている。	3.2	3.6	3.4
	12	課題・提出物は期限までに提出している。	2.9	3.2	3.4
3 教育環境について	13	学校は校舎内外の環境整備に努めている。	3.2	3.3	3.3
	14	学校の施設・設備は安全面で問題はない。	3.3	3.3	3.3
	15	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.2	3.2	3.2
	16	ゴミを散らかさないようにしている。	3.4	3.4	3.6
4 生徒活動について	17	生徒会活動に関心を持ち積極的に参加している。	3.2	2.8	3.0
	18	社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.2	3.5	3.5
	19	自分からすすんであいさつをしている。	3.4	3.4	3.4
	20	部活動に積極的に取り組んでいる。	3.6	3.4	3.4
5 その他	21	壱岐商生として、誇りをもっている。	3.3	3.3	3.2
	22	家庭ではあいさつや礼儀、生活態度などについて注意をしてくれる。	3.4	3.3	3.4
	23	朝の10分間読書に熱心に取り組んでいる。	3.5	3.5	3.5
	24	学校行事は楽しみである。	3.6	3.4	3.4
	25	周囲や相手のことを思いやって生活できている。	3.4	3.5	3.5

令和4年度 学校評価 保護者アンケート 集計結果

[4:よくあてはまる 3:ややあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:まったくあてはまらない]

評価項目	No.	具体的評価内容	評価平均		
			R4	R3	R2
1 教育活動全般について	1	本年度の努力目標は分かりやすい目標になっている。	3.1	3.3	3.3
	2	学校の生徒指導に対する姿勢に共感できる。	3.0	3.2	3.2
	3	学校は保護者に学校の様子を知らせてくれる。	3.0	3.1	3.0
	4	学校は子どもが部活動に意欲を持って参加できる環境が整っている。	3.0	3.2	3.3
2 学習活動について	5	子どもは学校行事を楽しみにしている。	3.3	3.3	3.3
	6	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	3.3	3.3	3.3
	7	子どもは授業が分かりやすいと言っている。	2.8	3.0	2.9
	8	子どもは家庭学習を行っている。	2.7	2.8	2.8
	9	先生は、学習における子どもの能力や努力を適切に評価している。	3.2	3.2	3.2
	10	学習の内容や進捗等を、懇談や学校からの通信によって知ることができる。	2.9	3.1	3.0
3 教育環境について	11	学校は事故防止に配慮し、施設・設備の点検を行っている。	3.1	3.2	3.1
	12	学校は清掃が行き届き、いつもきれいである。	3.3	3.3	3.3
4 開かれた学校づくりについて	13	学校は保護者や地域の人たちと話をする機会を多く設けている。	2.8	2.9	2.8
	14	学校は子どもの様子を保護者や地域に情報提供してくれる。	2.9	3.0	2.9
	15	学校は地域の行事をよく理解し、協力的である。	3.1	3.1	3.1
	16	先生はPTA主催の行事に進んで参加している。	3.3	3.3	3.2
5 その他	17	子どもは社会のルール、学校のルールをよく守っている。	3.3	3.3	3.3
	18	子どもは積極的に部活動に参加している。	3.4	3.4	3.4
	19	家庭ではしつけや基本的な生活習慣に注意を払っている。	3.2	3.2	3.3
	20	担任に子どもの教育について気軽に相談できる。	3.1	3.2	3.1
	21	子どもは周囲や相手のことを思いやって生活できている	3.3	3.3	3.3

令和4年度 学校評価表（自己評価）

校 訓	(1) 知性 【高い理想を掲げるとともに、学んだ知識・技能を活用して、自ら課題を発見・探求し、成果等を表現できる能力を育もう】 (2) 信義 【礼儀を正し、主体性をもって多様な人々と協働して課題を解決しようとする態度を身につけよう】 (3) 勇氣 【体位を向上させ、様々な変化に積極的に向き合い、新しいことに挑戦する勇気を養おう】	総合評価			
教育方針	高い志に向かって努力し、心身ともに健康で人間性豊かな人材の育成を目指すとともに、地域に信頼される特色ある学校づくりに努める。	3.0			
教育ローグ	本気で学んで 本気で鍛えて 夢実現！	(昨年度 3.0)			
教育目標	1 健康な心身を養い、規律を守り協力・共同することができる生徒を育てる。 2 自己肯定感を持ち、他者を思いやることのできる生徒を育てる。 3 目標を立て、主体的な取組を継続できる生徒を育てる。 4 創造力に富み、状況や場に応じた判断ができる生徒を育てる。 5 明るくあいさつができ、奉仕の精神を持ち、社会に貢献できる生徒を育てる。	(1) 健康な心身を養い、規律を守り協力・協働することができる生徒を育てる。 (2) 自己肯定感を持ち、他者を思いやることのできる生徒を育てる。 (3) 目標を立て、主体的な取組を継続できる生徒を育てる。 (4) 創造力に富み、状況や場に応じた判断ができる生徒を育てる。 (5) 明るくあいさつができ、奉仕の精神を持ち、社会に貢献できる生徒を育てる。			
本年度の努力目標		生徒の努力目標			
1 学習指導 (1) 思考力・判断力・表現力を伸ばす教科指導 (2) 個に応じた授業実践（主体的に学習に取り組む態度の育成） (3) ICT教育の推進 (4) 家庭学習の習慣化（知識・理解の定着） (5) 資格取得の奨励 (6) 地域や外部機関と協働した授業実践 2 生徒指導 (1) 進路実現に向けたキャリア教育の充実 (2) 人権に配慮した生徒指導 (3) 法令に即した適切な生徒指導	(4) 迅速な初期対応 (5) 環境を意識した教育活動 (6) 部活動を通じた人間教育 3 学校運営 (1) 内規の見直し（教務・校則・部活動） (2) 行事の精選・削減 (3) 観点別評価の確立 (4) ふるさと教育の推進 (5) 地域への情報発信 (6) チームワークの強化	(1) 自分を大切に、他人を思いやろう。 (2) 明るく、元気な挨拶をかわして元気な学校にしよう。（目を見て笑顔でワンストップ挨拶をしよう） (3) 場に即したマナーを身につけよう。 (4) 目標を立て、あきらめずに粘り強く努力しよう。 (5) 毎時間の授業に真剣に臨み、家庭学習の習慣化に努めよう。 (6) 意欲的に資格取得を目指し、将来に投資しよう。 (7) 積極的に読書をし、創造力や表現力を身につけよう。 (8) 部活動に励み、心身を鍛え、やり抜く力を身につけよう。 (9) 進んで学校行事や奉仕活動に取り組もう。 (10) 校内美化に努め、美しい環境をつくろう。			
評価は右記の4～1の番号を記入してください。 4：十分達成できている 3：おおむね達成できている 2：どちらかという達成できていない 1：ほとんど達成できていない					
分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評 価	成果と課題	
教 務 部	(1) 授業時数の確保と円滑な行事運営を行う。 (2) 授業研究及び情報交換の機会を設け、指導力向上のための研修を促進する。 (3) ICT教育や変化する教育活動に対応し、職員生徒の疑問に応え実践を支える。 (4) 保護者、同窓会、地域等との連携を図り、PTA活動の活性化や情報発信などにより開かれた学校づくりを推進する。 (5) 誰もが読書を楽しめる図書館運営を心がける。 (6) 図書委員会の活動を活発化し、仕事への責任感を持たせる。 (7) 朝の読書が、生徒にとって有意義で快適な時間となるよう支援する。	職員会議資料は、会議の2日前までに整理し、まとめて起案および冊子化することを目指す。また、会議前日までに職員配布することを目指す。	2.9	2.8	・タブレットを使って職員会議を実施したことにより印刷業務の削減ができた。 ・ICT教育について変化する教育活動を支えるために今後多くの課題に取り組んでいきたい。 ・部内で負担の大きい仕事を割り振る等して、負担の軽減を図っていくべき。 ・図書館業務に携わる人員が不足していた。部内の割り振りも含めて適切な人員配置が必要。 ・PTA行事について、工夫の余地がある。実施形態、活動内容も含めて今後検討が必要。
		PTA行事（総会、地区PTA、研修会）の出席率が過半数を超えるように促す。	3.1	2.8	
		教務部内で業務連絡・分担確認を定期的に行い、連携して行事の円滑な運営を図る。	2.6	2.5	
		各行事の実施後10日以内には反省を行い検証し、次年度につなげる。	3.2	3.0	
		教育相談部との連携を図り、ユニバーサルデザインの充実を図る。	3.0	2.8	
		課題・提出物は期限までに提出している。（今年度目標90%）	2.7	2.5	
		一日あたりの来館者10人以上をめざす。	2.2	2.2	
		図書委員にカウンター作業を徹底させる。	3.3	2.8	
		貸出本の未返却者を0にする。	2.1	2.2	
		「図書館だより」を年3回発行する。	3.6	2.8	
生徒指導部	(1) 全職員が共通理解の下に、あらゆる機会に容儀・マナーの指導を行う。 (2) 校内・校外巡視、登下校指導を行い、職員同士や保護者との連携を密に行い、問題行動発生の予防に努める。 (3) 保護者・地域関係諸機関と連携し、生徒の健全な成長を目指す。 <今年度の重点的取組> (1) 容儀指導の徹底（基準の確認、共通理解） (2) 問題行動の未然防止（校内外の巡視、登下校指導の充実） (3) 保護者・地域関係諸機関との連携（PTA、学警連、学校・警察相互連絡制度） (4) 「どこでも誰にでも、さわやかな挨拶」の徹底	容儀指導を月1回実施し、事後指導を徹底する。	3.3	3.3	・生徒指導の根本的な考え方は、処分ではなく、生徒を指導（支援）して改善を促すことに目的があることを教職員で再度確認したい。 ・SNS(ｽﾏﾌ)での問題をどうしていくか、職員で考えていかなければならない。 ・部屋不足の場面があった。 ・校則の見直しを次年度も実施。
		学年・分掌との連携を深め、問題行動の予防に努める。	3.5	3.0	
		交通ルールやマナー指導、自転車点検などを行い、交通事故「ゼロ」を目指す。	3.0	3.3	
		「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。	3.8	3.0	
		「生徒の悩みや相談について親身になって応じてくれる先生が多い」の項目で85%以上を目指す。	3.5	3.3	
		「社会のルール、学校のルールをよく守っている」の項目で95%以上を目指す。	3.5	2.5	
		「自分ですすんで挨拶をしている」の項目で95%以上を目指す。	3.0	3.0	
		「吉岐商生として誇りを持っている」の項目で生徒アンケート90%以上を目指す。	3.0	3.0	

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
進路指導部	(1)3年間を見通した進路指導の方策を練るとともに職業観・勤労観を育てる。また、キャリアパスポートの運用について円滑に進める。 (2)進路ガイダンスなど進路関係の諸行事への保護者の参加を増やすとともにHPによる情報発信を行う。 (3)企業訪問により追跡調査・定着指導を行うとともに、求人確保につなげる。 (4)基礎学力向上に対する取組を策定する。 (5)進路閲覧室の環境整備を進め、生徒の利用を増やす。	3年生の進路決定率100%。	3.0	3.5	3.5	・Handy進路指導室サービスを導入したことで求人票を自宅でも閲覧することができ、比較・検討を行いやすくなった。このことは、生徒・保護者・教員の各方面においてよかったと思う。 ・2/20現在、3年生の進路未定者が2名。1名は、3年になっても進路の関心が高まらず、動き出しが遅かった。2年までの進路指導が重要であると再確認した。もう1名は、体調に問題を抱えていた生徒である。本校には精神的身体的に不安定な生徒が少なからず在籍しているので、担任はもとより教育相談部との連携が今後も重要となってくる。 ・コロナ禍のため、進路関係行事への保護者参加の呼びかけはできなかったが、今後基準が緩和されるのであれば、開催予告をHPで発信するのも一つの手段として考えたい。（現在は行事を開催したいという事後報告のみのため）
		学校評価「学校は生徒の進路実現に向け、効果的な指導を行っている」「学校は進路に関して情報を提供してくれている」の両項目で、3.5以上を目指す。	3.4	4.0		
		学校評価「学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」の項目で、3.5以上を目指す。	3.2	3.0		
教育相談部	(1)悩みや不安を抱える生徒の把握に努め、適切な時期に相談を実施する。 (2)担任、養護教諭や生徒指導部との連携を密にし、効果的なカウンセリングに努める。 (3)「学校いじめ防止基本方針」を元に、いじめ問題根絶のため、多面的な情報収集と面談を実施し、予防、早期発見、早期解決に努める。 (4)人権・同和教育の充実に努める。 (5)各種奨学金を必要とする生徒に対し、円滑な手続きを行い、学校生活の支援をする。 (6)全職員の共通理解のもと、学年・分掌の枠を超えて生徒への対応を行う体制作りを努める。	関係職員と連携し、要観察生徒の情報交換を密にし、全教職員で共通理解をする。記録を引継ぎシートに残す。	3.3	3.2	3.4	・SC（派遣8回：2月現在）、SSW（年間105時間）、外部検査機関、医療と連携し、生徒の支援に役立てた。 ・教育相談委員会年間5回実施。気になる生徒の個々の様態や現状などの情報共有ができ、今後の支援や対応を考える機会となった。 ・特別支援教育推進委員会年間4回実施。外部機関とも連携（検査実施と結果説明）し、生徒支援に努めた。 ・昨年度より『いじめや暴力のない学校づくり』への評価はわずかに上昇したが、生活実態調査等でのいじめの相談はなくなってはいない。情報を察知した場合、生徒指導部や該当学年と連携し、早急に対応していく。 ・SNS上での情報発信と受信をきっかけにした人間関係のトラブルが増加してきている。生徒指導部とこれまで以上に連携し、生徒の支援につなげる必要がある。
		年1回4月に心理検査等を実施し、生徒一人ひとりが抱えている内面的問題を把握し、学級担任のより一層の生徒理解を図る。	3.5	3.4		
		養護教諭と連携して、日々の学校全体の欠席状況や保健室利用状況を把握し、毎週1回分掌会で「気になる生徒」の情報交換を行い学年・分掌間の連携と協力体制を作る。	3.5	3.4		
		教育相談委員会を学期に1回、年最低3回実施し、生徒状況の把握や保護者への対応の在り方、学年間での共通理解を図る。	3.7	3.6		
		事例研究や精神科医や教育相談員の講話等の職員研修を年1回は実施する。	3.7	3.6		
		学校評価「学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で90%以上を目指す。【今年度：92.0%】	3.0	3.2		
		学校評価「生徒の悩みや相談について親身となって応じてくれる先生が多い」の項目で90%以上を目指す。【今年度93.0%】	3.3	3.2		
保健環境部	(1)健康診断・健康相談について ①検診時のマナー指導 ②生徒・保護者への通知と受診依頼 ③担任・部活動顧問からの健康管理指導 (2)保健活動 ①食生活の見直し、ならびにう歯の予防や健康的な生活の指導 ②性教育の実施 ③歯科・眼科の受診率の向上 (3)保健室利用について ①保健室利用カードの活用 ②担任・学年団・教科担任との情報共有 (4)心のケアについて ①生徒一人ひとりの心の変化に気を配り、相談しやすい雰囲気を作る。 ②教育相談部と連携し、生徒のカウンセリングの方策について、全職員での共通理解を図る。一人で抱え込まず、チームで指導にあたる。 (5)美化意識の向上と清掃励行について ①1・2学期に美化週間を設け、学校全体で美化意識の向上を図る。 ②SDG'sに関連する地域清掃を通して、島内の環境美化に努めるとともに、ゴミの分別や資源再利用の意識を高める。	美化週間を設定し、日頃できていないところまで丁寧に無言で清掃する。	2.7	3.3	3.0	・美化週間について、学年間やクラス間で差はあるが、取り組みは概ね良かった。環境委員も美化点検に加わり、生徒主体での実施ができた。また、大掃除は積極的に自主的な取組が見られ、良好であった。 ・大掃除の行為については、行為をしていない生徒が目立ち、指示の徹底が必要である。 ・体調不良や肥満による悪化が心配される生徒を対象に指示を行い、体重の増加は抑えられた。 ・感染対策や注意喚起などを行ってきたが、約4割の生徒が何らかの感染症に罹患した。学校行事において、クラスターが発生しないよう、計画段階から注意喚起を続ける必要がある。 ・2022年度の受診率：歯科18.4% 眼科19.8%
		大掃除は体操服に更衣し、隅々まで丁寧に。また、重点課題を設定し、校内のいっそうに美化に努める。	3.0	3.0		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつも綺麗である」の項目において4・3の合計が95%以上を目指す。【今年度：保護者94.9%,生徒84.1%】	2.7	3.2		
		学校評価「ゴミを散らかさないようにしている」の項目において、95%以上を目指す。【今年度：99.1%】	3.3	3.4		
		地域清掃（観光地クリーン作戦）を通して環境美化に努め、ゴミの分別や資源再利用の意識を高める。				
		感染症罹患による出席停止措置となる生徒数が全体の1割（25名）以下になるように努める。（教育委員会指示による休校及び濃厚接触者としての出席停止は含めない）【今年度：1名】	4.0	2.6		
		肥満生徒の年間の体重増加を3kg以下にする。	2.5	3.0		
		保健指導を計画的に行い、学校行事での事故を無くす。	3.2	3.6		
		歯科受診率（昨年度16.7%）眼科受診率（昨年度23.3%）を昨年度よりも上げる。【今年度：歯科19.4% 眼科：23.3%】	2.5	2.0		

分掌学年等	努力目標	具体的方策 (到達目標)	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
生徒会指導部	<p>(1)生徒の主体性や自主性を高め、積極的に社会貢献しようとする行動力を育成する。 ○生徒総会で生徒の活動や要望について積極的に検討させる。 ○生徒会と各分掌との連携を深めるとともに専門委員会を各学期2回開催し、生徒集会で報告する。</p> <p>(2)学校行事への積極的な参加と協力する態度を養う。 ○体育祭、文化祭、クラスマッチ等の集団活動の中で連帯感を深め、協調性を養う。特に文化祭では、文化委員を中心にクラスでの準備を計画的に行わせる。</p> <p>(3)生徒会役員会の活性化を図る。 ○定期的に役員会を実施し、役員相互のコミュニケーションを深める。 ○生徒会活動の中でリーダーシップを発揮できるように定期的に研修を行う。</p> <p>(4)部活動の活性化を図ることで統制の取れた集団へと成長し、活力ある学校を目指す。 ○無所属生徒を減らすために積極的に部活動への加入を推進し、特に1年次においては部活動に全員加入するよう指導を行う。</p> <p>(5)ボランティア活動の意義を理解し、実践する能力を養う。</p> <p>(6)平和を愛する心を育てるとともに、人権についての意識を高める。 ○8月9日全校登校日での平和学習を企画、運営する。</p>	各行事において主体的に取り組ませ、連帯感や達成感を高めて目標達成への自信につなげる。	3.4	3.3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員としての自覚に温度差があった。 ・クラスマッチを2日開催し、クラスの団結力工場の一助となった。 ・文化祭では、物品の貸し借りや使用教室での申し合わせを作成しなければならない。 ・文化祭の日程調整と内容の精査が必要。 ・商高生としての誇りをどう身につけさせるか考えていき、生徒が学校行事や部活動を通して主体的・自発的に取り組める環境づくりを行いたい。 ・芸術鑑賞後の後片付けを多くの生徒が率先してしてくれたことに大変感動した。
		部活動加入を積極的に推進し、生徒同士が切磋琢磨することで体得できる集中力や忍耐力、責任感などを身に付けさせる。	3.0	3.3		
		まずは生徒会役員が率先して楽しむことができるようなアイデアを積極的に出し合い、「挑戦」の視点で企画立案を行う。	2.8	3.0		
		「生徒会活動に関心を持ち、積極的に参加している」の項目で80%以上を目指す。	2.4	2.5		
		「自分から進んで挨拶をしている」の項目で90%以上を目指す。	3.6	3.5		
		「壱岐商生として誇りを持っている」の項目で90%以上を目指す。	3.0	2.6		
第1学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 「わかる授業」「できる授業」だけでなく「考えさせる授業」の工夫 → HowのみでなくWhyを意識させる ② 課題等の提出の徹底(教科担任で責任をもつ) ③ 進路指導と並行した学力向上対策・・・3年間で全科目GTZ「D3」0人を目指す ④ 資格取得対策・・・1学年で3級全員取得</p> <p>(2)生活指導に関する目標 ① お互いの価値観の尊重 ② 清掃の徹底と教室・廊下の美化 ③ 校則遵守・礼法・挨拶・マナーの指導 ④ 身だしなみ指導の徹底 ⑤ 時間厳守の徹底 ⑥ 安易な欠席の予防 ⑦ 不登校傾向にある生徒への早期対応 ⑧ 「いじめ」の早期発見と早期解決</p> <p>(3)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を築く。</p>	年間出席率99.0%以上を目指す。(欠席は年間3日以内、遅刻をしない)	2.1	1.8	2.6	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのこともあり、欠席に対する生徒の意識の低さがあったが、長欠が懸念される生徒への初期対応が早かったのは良かった。 ・提出物については出す習慣が感じられなかったが、徐々に良くなってきている。 ・対人関係のトラブルで悩んでいる生徒が多く、今後も地道な対応が必要であると思われる。 ・美化コンテストで上位を占められたのは日々の積み重ねであり、今後も日常的に指導していきたい。 ・あいさつは自分からできるようになってほしい。
		提出期限を守ることを徹底させる。	2.2	2.3		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で3.5以上を目指す。	3.4	2.6		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で3.5以上を目指す。	2.9	2.4		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で3.3以上を目指す。	3.1	3.4		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で3.5以上を目指す。	3.4	2.8		
		学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」の項目で3.4以上を目指す。	3.4	2.6		
		挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底		2.6		
第2学年	<p>(1)学習指導に関する目標 ① 授業を大切にしたい意欲的な学習態度の育成 ② 家庭学習の定着と課題の期限内提出の徹底 ③ 成績不振者への個別指導</p> <p>(2)適性・能力にあった進路意識の育成 ① 個人面談(二者・三者面談含む)による進路意識の高揚 ② オープンキャンパス参加や進路指導室利用の促進</p> <p>(3)生徒指導に関する目標 ① 礼儀・マナーの育成 ・挨拶、言葉遣い、容儀(頭髪・服装など)の指導徹底 ② 規律ある生活態度の育成を図る ・健康面の自己管理、時間厳守、「けじめ」ある行動などの指導徹底 ③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り ・「いじめ」の早期発見と早期解決 ・教室整備と掃除の徹底</p> <p>(4)その他 保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。</p>	保護者との連携を密にし、信頼関係を深める。		2.6	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から比べるとだいぶ成長した生徒が多いが、一般的なレベルから見るとまだまだ不足している部分が多い。挨拶、言葉遣いなどほとんどの生徒はきちんとできているが、一部の生徒は声掛けなど指導が必要。礼法やコミュニケーションなど、仲のいい友人以外の人間との付き合い方に課題がある生徒が多い。授業でのグループワークや行事の中で、よりよい対人関係の構築を図らせたい。 ・掃除への取り組みはだいぶ改善された。 ・学力はもとより、見えない学力の部分の伸びが期待されるが、課題・提出物を期限を守ることが徹底できないことと、家庭学習の習慣がついていない。検定へチャレンジする姿勢は大変良かったが、合格が難しかったようだ。 ・SNS上のトラブルのように、教員側に見えづらい悪口が問題になることがあった。 ・学業、部活動ともに、自分たちと壱岐高校を比較し、「自分は商高だから」と口にする生徒が散見される。原因が、各個人が一生懸命になれるものを見出せていないからではないか。「商高に来てよかった」と感じられる学校づくりが必須。
		社会人としての礼法・マナー及びコミュニケーション能力を定着させる。	2.7	2.5		
		学校評価の全ての項目の平均で、4.3の合計評価が、80%以上を目指す。	2.7	2.5		
		学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目で4.3の合計評価が85%以上を目指す。	3.4	3.2		
		学校評価「課題・提出物等は期限までに提出」の項目で4.3の合計評価が80%以上を目指す。	3.2	2.2		
		学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目で4.3の合計評価が90%以上を目指す。	2.4	2.9		
		学校評価「自分から進んで挨拶をしている」の項目で4.3の合計評価が90%以上を目指す。	3.4	2.9		
		学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」の項目で4.3の合計評価が85%以上を目指す。	3.1	2.7		

分掌学年等	努力目標	具体的方策（到達目標）	評価			成果と課題
			昨年度	本年度	総合	
第3学年	(1)学習指導に関する目標 ① 成績上位者の育成 ② 主体的に学習に取り組む態度の育成 ③ 資格取得の奨励 (2)進路指導に関する目標 ① 個人面談や面接指導、進路講話等による進路指導の充実 ② 個々の生徒の希望と適性に合った進路指導 (3)生徒指導に関する目標 ① 礼儀・マナーの育成 ・挨拶、言葉遣い、容儀（頭髪・服装など）の指導徹底 ② 規律ある生活態度の育成を図る ・健康面の自己管理、時間厳守、「けじめ」ある行動などの指導徹底 ③ 「いじめ」のない、落ち着いた学習環境作り ・「いじめ」の早期発見と早期解決 ・教室整備と掃除の徹底 ④ 生活面で問題を抱える生徒への早期対応 (4)その他 ① 保護者との信頼関係を深め、進路実現への連携を図る。 ② 体育祭、文化祭等の学校行事をとおして、クラス・学年団の団結力を深め、目標達成による充実感を体験させる。 ③ 成人年齢の引き下げによるトラブル防止と社会で一人の大人として生きていく力を身に付けさせる。	年間出席率99.0%以上を目指す。また全員卒業を達成する。	2.7	3.0	3.6	・就職試験手続き中の生徒が2名いるが、おおむね希望する進路先に決定した。取組が遅い生徒も見られたため、2年次末までに、進路実現に向けた意識付けの必要を感じた。 ・Handy進路指導室の導入が、タブレット端末を利用した家庭での進路先比較・検討に役立った。 ・就職希望者の中に、就業地について理解していない状態で応募したケースあり。その他の項目も含め、求人票をよく確認する必要がある。 ・コロナ感染予防措置のため、欠席することに抵抗感がなくなっているのではないかと。入社後の体調管理や欠勤が心配。 ・健康上の理由、友人関係の理由で欠席が増えた生徒がいたが、2学期以降は状況の改善が見られ、年間出席率は、98.9%となった。 ・進路実現に向けた取組もあり、問題行動は少なかった。 ・体育祭、文化祭等の学校行事でクラスの団結力は深まったが、商業科と情報処理科の対抗意識が強まることも見られ、学年全体の団結の深まりにつながらなかったことが残念であった。 ・進路決定後の生徒各自の目標設定を行わせること、卒業までのモチベーションを向上させることに難しさを感じた。
		問題行動「ゼロ」を目指す。	3.0	2.9		
		進路決定100%を目指す。	3.2	3.0		
		生徒学校評価の全ての項目の平均で4.3の合計評価が、80%以上を目指す。	3.1	4.0		
		生徒学校評価「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」の項目平均で、4.3の合計評価が85%以上を目指す。	3.4	4.0		
		生徒学校評価「学校は清掃が行き届き、いつもきれいである」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	2.8	4.0		
		生徒学校評価「自分から進んで挨拶をする」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	3.3	4.0		
		生徒学校評価「壱岐商生として誇りを持っている」の項目平均で、4.3の合計評価が90%以上を目指す。	2.8	4.0		
商業科	(1)家庭学習を習慣化し、「予習－授業－復習」のサイクルを確立することで、就職試験で戦える学力および進路先で通用する学力を身に付けさせる。 (2)言語活動の充実を目指した授業を推進し、コミュニケーション能力の向上を図り、主体的な人材の育成を目指す。 (3)各学科の独自性と専門性を活かし、地域社会に貢献できる事業（活動）の検討と実践に向けての取組を行う。	教育課程の見直し。（生徒の実態に即した課程の検討）	2.9	3.0	2.9	・新教育課程も1年生から導入されたが、本校の生徒の実態に合わせて検討を重ねる必要がある。 ・外部との連携は生徒に良い影響を与えるので今後も取り入れていく。 ・1月の検定は特に、インフルエンザ等で出席停止や閉鎖になる可能性もあることを見据えて、授業進度を考えていく必要があると感じた。 ・今年度の3年生は資格取得に向けてよく努力を継続してくれた。全商3種目以上は13名、ビジネスマイスター長崎は40名の受賞者であった。 ・1、2年生において知識を習得させるための授業が更に必要だと感じた。 ・3年生の課題研究では、外部連携を強化し、活動する講座を開設する必要があると感じた。
		簿記検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.1	2.8		
		情報処理検定合格者数アップへ向けた取組を行う。	3.1	3.0		
		全商3種以上 10名（昨年度は7名）	2.3	3.5		
		ビジネスマイスター長崎 30名（昨年度27名）	2.5	3.3		
		学校評価「毎日必ず家庭学習を行っている。1時間以上」の項目で2.3を目指す。（昨年度評価平均2.1）	1.9	2.1		